



今回は、点字ブロックをテーマに SGH 課題研究を進めているグループを紹介します。

◇ 研究テーマ：「点字ブロックの安全性と課題について」

日 時： 平成 28 年 12 月 14 日 (水) 16:00 ~ 17:30

講 師： 山田秀代先生 (岐阜盲学校)

テーマ： 点字ブロックの安全性や課題について

経 緯： 健常者にとっての点字ブロックの存在と、弱視や全盲の方にとってのその存在について、インターネット等で調査するには限界があった。そこで、専門家に聞くことで疑問やさらなる情報を得ることを目的として、岐阜県立岐阜盲学校の山田秀代先生に依頼することになった。

◇ 当日の様子

岐阜盲学校の山田秀代先生から、白杖 (はくじょう) の本物を数種類見せていただきました。また、その使い方の指導をしていただき、実際にその場で生徒が使用してみました。岐阜盲学校の校舎内やその周辺に設置してある点字ブロックの写真をたくさん見せていただき、実際の設置状況やその課題についてのお話をうかがいました。以下がその要点です。

- ・ 設置方法についてのルールがあるというわけではなく、その場に応じて設置している。
- ・ 追加工事があつたりした時には、業者(担当者)ごとに設置しているのかもしれない。
- ・ 方向転換を数回させているようなものもあり、使用者にとって危険性が考えられる。
- ・ 長期間の使用によって摩耗している点字ブロックも多く、その意味をなしていない箇所も複数確認されている。
- ・ 補修工事については、全く見通しがたない状況である。

今回の講演により、我々が考えている以上に多くの課題があることを知ることができました。今後の研究につなげていけられるよう、さらに研究を進めていきたいと思ひます。

◇ 参加した生徒の感想

■ 事前に自分たちでも点字ブロックのことについて調べてはいたけれど、話を聞くと知らないことがたくさんあり、充実した時間になりました。また、点字ブロックを取り巻く現状を聞き、よくなっていくように何か行動はできないか、と思ひました。

■ 初めて聞いたことばかりで、とてもためになりました。目の不自由な方と出会った時、今回教えていただいたことを生かして接したいと強く思ひました。お話を聞けて本当によかったです。

■ とてもためになるお話を聞くことができました。知っているつもりでも、実は知らないことばかりで考えさせられました。あれから、さらに意識して点字ブロックを見るようになりました。

どうしてここにあるんだろうとか、こうしたほうがいいんじゃないか、など考えながら過ごすことが多くなりました。こうして意識できる人が増えると、視覚障がい者の方が暮らしやすくなるんじゃないかなと思ひました。

■ 点字ブロックの形によって様々な意味を持っていることに驚きました。それと同時に時々見るボロボロの点字を見て、これでは点字ブロックとして正しく機能していないと思ひました。今の社会は障がいをもつ人々にとってまだ優しくない点が多くあるので、自分たちが考え行動することが大切だとわかりました。

